明石工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	国語Ⅲ

科目基礎情報

科目番号	0039	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	建築学科	対象学年	3
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	中島国彦ほか「精選現代文Ｂ」（明治書院）久保田淳ほか「高等学校古典Ｂ」（明治書院）稲賀敬二ほか「新訂総合便覧」（第一学習社）		
担当教員	河野 光将		

到達目標

1)　論理的な文章（論説や評論）の構成や展開を的確にとらえ、要約することができる
2)　文学的な文章（小説や詩）に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取ることができる
3)　社会生活の中で用いられている漢字や語句について正確に理解し、活用することができる

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	論理的な文章（論説や評論）の構成や展開を的確にとらえ、要約した上で、その論拠の妥当性について議論することができる	論理的な文章（論説や評論）の構成や展開をとらえ、おおむね要約することができる	論理的な文章（論説や評論）の構成や展開を的確にとらえることができない
評価項目2	文学的な文章（小説や詩）に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、その特質を理解することができる	文学的な文章（小説や詩）に描かれた人物やものの見方を表現に即して適切に読み取ることができる	文学的な文章（小説や詩）に描かれた人物やものの見方を十分に読み取ることができない
評価項目3	社会生活の中で用いられている漢字や語句について正確に理解し、活用することができる	社会生活の中で用いられている漢字や語句についておおむね正確に理解し、活用することができる	辞書など補助的な機器がなければ、社会生活の中で用いられている漢字や語句について正確に理解し、活用することができない

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (E)

教育方法等

概要	近現代の評論文や小説、古典文学など、様々な文章を主体的に読むことを通して、日本語及び日本文化の基本的な知識を習得する。豊かな感性と論理的な思考力を身につけ、的確な読解力と表現力を獲得する。
授業の進め方・方法	講義形式を基本とするが、随時課題を課すことがある
注意点	自主的に予習を行い、授業には集中して意欲的に取り組むこと 合格の対象としない欠席条件(割合)　1/3以上の欠課

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	ガイダンス、「異文化理解」（青木保）の読解	授業の進行・準備物について理解することができる
		2週	「異文化理解」（青木保）の読解	テキストに用いられている語句・表現を適切に理解することができる
		3週	「異文化理解」（青木保）の読解	テキストの構成をとらえ、内容を適切に理解することができる
		4週	「異文化理解」（青木保）の読解	これまでの記述と合わせて、テキスト全体の主張を適切に理解することができる
		5週	「町の小路の女」（蜻蛉日記）の読解	筆者およびテキストの歴史的背景を理解し、テキストを読解することができる
		6週	「町の小路の女」（蜻蛉日記）の読解	助動詞や尊敬表現など文法事項に注意して、テキストを読解することができる
		7週	「町の小路の女」（蜻蛉日記）の読解	助動詞や尊敬表現など文法事項に注意して、テキストを読解することができる
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	中間試験の解説、「檸檬」（梶井基次郎）の読解	時代背景や登場人物を正確にとらえ、小説の世界を理解することができる
		10週	「檸檬」（梶井基次郎）の読解	表現・構成に注意して小説の展開を理解することができる
		11週	「檸檬」（梶井基次郎）の読解	表現・構成に注意して小説の展開を理解することができる
		12週	「檸檬」（梶井基次郎）の読解	表現・構成に注意して小説の展開を理解することができる
		13週	「荀子」の読解	返り点等漢文のルールに注意して内容を適切に理解することができる
		14週	「死友」（捜神記）の読解	再読文字等漢文のルールに注意して内容を適切に理解することができる
		15週	「死友」（捜神記）の読解	内容を適切に理解し、中国の小説と日本の物語の関係について意見を述べることができる
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	後3,後10,後13
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	後4,後15

				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	後5,後9
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	後2,後11
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	後2,後13
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	後2,後13
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	後1,後13
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	2	後4,後14
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	2	後3,後15
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	2	後4,後6,後7,後12
				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	2	後4,後15

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0